

平成30年度
学校法人栗原学園

事業報告書

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月31日まで

1. 法人の概要

(1) 学校法人の沿革

| | | | |
|----|-----|-----|--|
| 昭和 | 30年 | 4月 | 北見市幸町にて北見簿記専門学校を開設 |
| 昭和 | 31年 | 4月 | 北見簿記専門学校 北海道知事認可 |
| 昭和 | 42年 | 3月 | 校名を北見商科専門学校に変更 |
| 昭和 | 51年 | 4月 | 校名を北見商科高等専修学校に変更 |
| 昭和 | 60年 | 11月 | 北見情報ビジネス専門学校 開校 |
| 平成 | 10年 | 2月 | オホーツク社会福祉専門学校 開校 |
| 平成 | 16年 | 1月 | オホーツク社会福祉専門学校2号館 落成 |
| 平成 | 16年 | 4月 | オホーツク社会福祉専門学校保育課 開校 |
| 平成 | 16年 | 9月 | 遠軽研修センター 設置 |
| 平成 | 19年 | 9月 | 栗原学園グラウンド「グリーンティング広場」完成 |
| 平成 | 21年 | 10月 | 北見商科高等専修学校校舎リニューアル オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科校舎 落成 |
| 平成 | 21年 | 12月 | 北海道厚生局より歯科衛生士科認可指定 |
| 平成 | 22年 | 4月 | オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科 開学 |
| 平成 | 23年 | 9月 | オホーツク社会福祉専門学校こども未来学科 認可 |
| 平成 | 26年 | 6月 | 39キャンパス 完成 |
| 平成 | 29年 | 4月 | 北見情報ビジネス専門学校ホテル観光ビジネス学科 開設 |
| 平成 | 30年 | 4月 | 企業主導型保育園「こどもの国ステラ」開園 |

(2) 生徒・学生数の状況

学科・定員・現員（平成30年5月1日時点）

| 名 称 | 学 科 | 年 限 | 定 員 | 定員合計 | 学生数 |
|-------------------|-------------|--------|------|-------|-------|
| 北見商科高等専修学校 | 商業科 | 3年課程 | 80 | 240 | 163 |
| (北海道有朋高等学校) | (経理科) | (3年課程) | (80) | (240) | (163) |
| 北見情報ビジネス 専門学校 | 総合事務科 | 2年課程 | 30 | 60 | 36 |
| | 情報通信科 | 2年課程 | 30 | 60 | 32 |
| | ホテル観光ビジネス学科 | 2年課程 | 20 | 40 | 9 |
| オホーツク社会福祉 専門学校 | 介護福祉科 | 2年課程 | 80 | 160 | 42 |
| | こども未来学科 | 2年課程 | 40 | 80 | 79 |
| | 歯科衛生士科 | 3年課程 | 30 | 90 | 40 |

(3) 役員の数（令和元年5月1日現在）

理事 8人
監事 2人
評議員 17人

(4) 教職員数（平成30年5月1日時点）

| | | |
|------|-----|-----|
| 学園全体 | 正職員 | 講師 |
| | 39名 | 69名 |

2. 事業の概要

(1) 概要

栗原学園は昭和30年に初代理事長である栗原太郎が経理士事務所を経営する中で経理教育の必要性を認識し、北見市幸町のピアソン通りの一角に「北見簿記専門学校」を開校しました。時代・社会に対応するべく、北見商科高等専修学校・北見情報ビジネス専門学校・オホーツク社会福祉専門学校の開校、また専門学校においては開校後も新しい学科の設置を行い、地域のニーズに応える運営をしています。本学園を巣立っていった学生・生徒は既に一万名を超えています。オホーツク圏30万人の地域におけるオンリーワンを目指し、この地域になくてはならない学園、必要とされ続ける学園を目指して学科設置、施設設備、教育指導体制の充実を進めています。

(2) コンセプト

平成27年（創立60周年）を一つの区切りととらえ、「紡ぐ・一園一家」というコンセプトを掲げています。北海道や筑豊には多くの炭鉱があり、一つの山に関わる人は皆、家族同様であるという考えを「一山一家」という言葉で表現していた事を引用し、栗原学園に係る学生・生徒・教職員・関係者は全て一つの家族であるとの考えからこのようなコンセプトを掲げ、令和7年（創立70周年）までの中長期コンセプトとしています。

(3) 新規学科の設置

高等専修学校1校、専門学校2校・5学科設置の体制より、平成29年4月には、専門学校に「ホテル観光ビジネス学科」を設置し、オホーツク圏に訪れる外国人観光客に、中国語・英語・韓国語の会話力育成を中心としたオンリーワンのスキルを身に付け、地域で活躍できる人材の育成を行っています。

(4) 新規事業

平成30年4月に、オホーツク管内初の企業主導型保育園「こどもの国ステラ」開園し、栗原学園教職員および地域の方々の乳幼児を預かり、子育てと仕事の両立を支援する体制を整えました。また、子育てをしながら、リカレント教育（一度社会に出て、学び直すこと）の為に本学園に通学する学生の乳幼児もお預かりし、就学の支援をすることは本学園のコンセプトに基づいており、一定の評価を頂いています。

3. 主な活動計画と進捗状況

(1) 教育力の向上

平成30年度より、一つひとつの学校ではなく、「一つの学園」としての質の向上を図る事を目指して取り組む事を学園全体の共通項目として掲げる。

- ・公開授業の実施…質の向上を目指す為に、全職員が公開授業を実施
- ・教職員研修会の充実…外部講師を招いての研修、教職員ディスカッション・プレゼンテーションの実施（コミュニケーションスキル・障がいを持つ生徒学生への対応スキル）
- ・自己点検、自己把握の実施…各校各科での取組に対する現状と対応に対するディスカッション・プレゼンテーションの実施
- ・運営実施の確認…文部科学大臣認定、職業実践専門課程認可学科に対する着実な運営実施と、新設学科に関しても同様の運営を行い、認可申請を目指す。

(2) 国家試験への取り組み

学園コンセプトに基づき、授業カリキュラムの充実のみならず、個別指導の徹底を図る事で、合格率の向上に勤めています。

- ・歯科衛生士（歯科衛生士科）100% 4期連続
- ・介護福祉士（介護福祉科）100%
- ・情報処理技術者試験（情報通信科）7試験合格

(3) 就職への取り組み

就職内定、進路決定率に関しては全員の就職・進路が決定している状況です。高等専修学校においては、多様化するニーズに応えるべく、積極的に進学・就職先の体験を出来る機会を設け、より定着率の高い進路指導を目指しています。専門学校2校に関しては、それぞれの専門職として就職するにあたり、インターンシップでの体験、職業講話等を取り入れ、卒業後の定着率を重視した進路指導に重点をおいています。

- ・就職内定率、進路決定率…100% (学園全体)

(4) 全国経理教育協会主催簿記電卓大会への参加

北見商科高等専修学校と北見情報ビジネス専門学校の取り組みとして、全国経理教育協会主催簿記電卓大会への参加を行っています。簿記と電卓の2つの科目に対して、競技として取り組む事により、より高いレベルでの技術習得を目指しています。

- ・電卓の部 (高等課程) 全国大会【団体の部優勝】 文部科学大臣賞受賞 (8回目)